

42. IoTおもてなしクラウド事業

平成29年度予算案額
:248百万円

概要

IoT時代の技術進歩の成果を踏まえ、訪日外国人等のスムーズな移動、観光等の実現に向け、スマートフォン、交通系ICカードやデジタルサイネージ等と、共通クラウド基盤を活用した多様なサービス連携(個人の属性・言語等に応じた情報提供等)を可能とするため、共通クラウド基盤の構築を進め、実証実験を通じて機能を検証する。

●**対象者** 地方公共団体、民間事業者など

●**対象事業** 訪日外国人等のスムーズな移動、観光等の実現に向け、スマートフォンや交通系ICカードやデジタルサイネージ等と、共通クラウド基盤を活用することにより、言語等の個人の属性情報による情報提供等の多様なサービス連携の実現に向けた実証実験を行う。

●**支援内容** 平成29年度は、平成28年度に構築したスマートフォンや交通系ICカード、デジタルサイネージ等を活用し、個人の属性(言語等)に応じた情報提供等を可能とする共通クラウド基盤の機能拡充及び多様な地域での実証実験を実施予定。

●事業イメージ

2020年以降の我が国の社会全体のICT化を推進し、訪日外国人を含め高齢者や障がいを持つ者等誰もが安心して快適に過ごすことができる環境を構築するため、属性情報と各種サービスを連携させる共通クラウド基盤の構築を進め、実証実験を通じて機能を検証する。

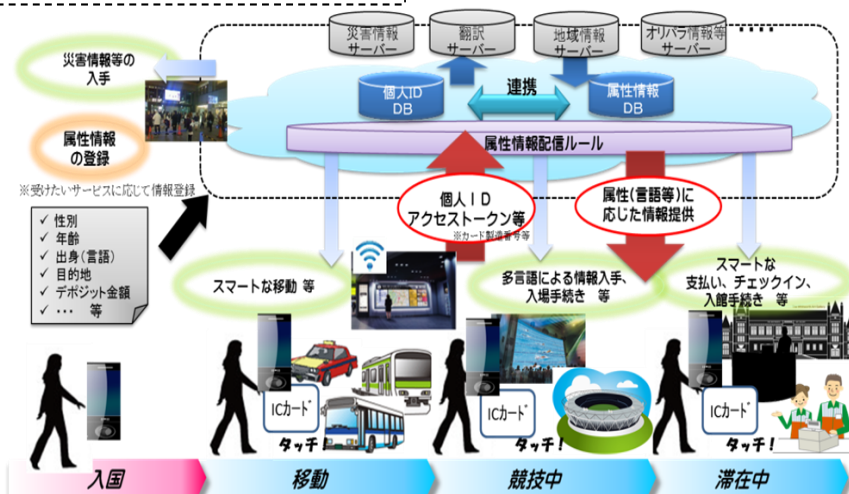
【H29予定額:2.5億円】

【これまでの取組・現状】

- デジタルサイネージの相互接続性を確保し、緊急災害時の一斉情報配信等を可能とするために必要となる機能要件のガイドラインを定めた。また、共通クラウド基盤を構築し、クラウド基盤に登録した属性情報とICカード等のひも付けによる、多様なサービスの実証を複数の地域で実施。

【目標・成果イメージ】

- 個人の属性に応じた情報提供を実現するための共通クラウド基盤の構築
- サービス提供事業者が共通クラウド基盤を簡易に利用するための仕組みの策定



○問い合わせ先 : 総務省 情報通信国際戦略局 情報通信政策課
電話 03-5253-5481